

ツール類の利用について（概要及びライセンス等注意事項）

1. ツール構築及び公開の趣旨

筑波大学附属図書館は、「オープンアクセス加速化事業（令和5年度 人工知能等社会実装研究拠点事業補助金）」（文部科学省公募、令和6年度実施）に採択されました。この事業の一つとして、オープンアクセスの推進に資するシステム等の開発を目的に、以下のリポジトリ業務支援ツールを開発しました。

① KAKEN 情報抽出ツール

国立情報学研究所（NII）の「KAKEN データベース」から API により取得したデータを自動的に整理し、マクロを使用して Excel シートに出力します。Excel ファイルにプログラムを登録しているため単独で動作します。

自機関の研究者による研究課題を特定し、即時 OA の対象となる成果物に関する書誌情報をエクセル化できるため、後の一括登録等の作業が容易になります。DOI が付与された論文は次の OA 判別ツールにより、更に詳細な情報を取得できます。

★KAKEN（科学研究費助成事業）データベース：kaken.nii.ac.jp/ja/

② OA 状況判別ツール

学術論文の DOI を検索キーとして、検索対象の論文が即時 OA の対象であるかを判別するための情報（既に OA 化されていないか、査読を受けているか、所属研究者が筆頭著者か等）を取得できます。

Unpaywall から各論文の OA 状況と筆頭著者及び共著者の所属情報を取得します。また、Open policy finder 及び SCPJ から著作権ポリシー情報を取得し、それぞれの情報を Excel シートに出力します。Excel ファイルにプログラムを登録しているため単独で動作します。

なお、本ツールは国立研究開発法人 国際農林水産業研究センターの林 賢紀氏によって開発されたツール（metadata_fetcher_by_DOI）を元に新機能（著者情報の取得）を追加しており、LGPL-2.1 ライセンスの下で GitHub 上でも公開されています。（https://github.com/IzumiFujiwara/metadata_fetcher_by_DOI/）

★Unpaywall：<https://unpaywall.org/>

学術論文のオープンアクセス（OA）版を探してくれるブラウザ拡張機能（プラグイン）として知られています。Our Research（旧 Impactstory）という非営利団体によって提供されており、本ツールではこちらの API をを利用して Unpaywall から必要な情報を抽出しています。

★Open policy finder（旧 Sherpa Romeo）：<https://openpolicyfinder.jisc.ac.uk/>

★SCPJ（学協会著作権ポリシーデータベース）：<https://jpcoar.org/support/scpj/>

国内外の出版社・学協会が発行する学術誌などの著作権ポリシーを収集・公開しているデータベースです。前者は英国の Joint Information Systems Committee (JISC)、後者は日本のオープンアクセスリポジトリ推進協会（JPCOAR）が管理・運営しており、学術雑誌論文等のリポジトリ登録に際して多くの大学・研究機関で参照されています。

③ChatGPTs 3 種

以下は、ChatGPTs を公開用プラットフォームとしています。

- ・ ChatGPTs [1]紀要 PDF の論文単位分割機能

紀要論文等の 1 冊分の PDF を、論文単位の PDF ファイルに分割できます。

- ・ ChatGPTs [2]論文メタデータ抽出

論文単位の PDF ファイルから、論文名・著者名等のメタデータを抽出して、メタデータ一覧を作成し外部出力できます。複数 PDF を一括で作業できます。

- ・ ChatGPTs [3]KAKEN-DB から取得した研究成果物.csv を統計分析する AI

②で取得したデータを csv ファイルに保存してチャットにアップロードすることで、統計分析やグラフ等を作成することができます。

開発時に広く活用いただけることを念頭において設計をした結果、ツールのプラットフォームとしてエクセルと Chat GPTs を採用しました。どなたでも簡便にご利用いただくことが可能なものとなっています。

これらのツールを、複製及び改変可能なツールとして公開・配布します。

オープンアクセス推進に取り組む図書館員の皆さん、オープンアクセスに関心をお持ちの研究者・学生の皆さんなど、広くご活用いただけましたら幸いです。

2. ツールの利活用について

本ツール類は、以下のライセンスに基づき公開します。

①KAKEN 情報抽出ツール：CC BY-SA

②OA 状況判別ツール：LGPL-2.1

③ChatGPTs のプロンプト等設定情報：CC BY-SA

◎以下にご注意ください

複製及び改変可能なものとして配布しますが、利活用の結果いかなる不利益が生じても、筑波大学附属図書館は一切責任を負いません。ご自身（または機関）の責任においてご利用ください。

※CC BY-SA について

①③は、複製、改変を自由に行えますが、原作者のクレジットを表示（BY=表示）し、改変した場合には、元の作品と同じ CC ライセンスで公開すること（SA=継承）を義務とします。

※LGPL-2.1 について

②は、複製や改変を自由に行えますが、改変した場合はその変更部分のマクロのソースコードを公開する義務があります。また、他のソフトウェアからこのファイルにリンクして利用できる状態を保つ必要があります。このような利用形態であれば、リンクするソフトウェアに同一のライセンスを適用する必要はありません。ただし、このファイルそのものやマクロのソースコードを取り出して、他のソフトウェアに直接組み込む場合は、LGPL-2.1 のライセンスを継承してソフトウェアを公開する義務があります。

3. その他

- ・筑波大学がツールの停止や大きな改変等を行った場合は、配布登録先に連絡します。
- ・本件にかかる当館の問合せ窓口は以下のとおりです。

〒305-8577 茨城県つくば市天王台 1-1-1

学術情報部 情報企画課 リポジトリ担当[中央図書館]

tel:029-853-2470 mail: tulips-r@tulips.tsukuba.ac.jp

つくばリポジトリ: <https://tsukuba.repo.nii.ac.jp/>

※なお、他機関等で共有できる活用事例がありましたらご教示ください。

以上